

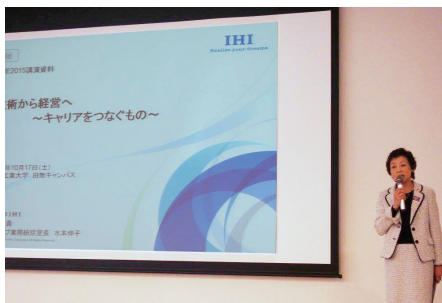


2015年10月17日(土)、芝浦キャンパスで、IEEE JC WIE(The Institute of Electrical and Electronics Engineers Japan Council Women in Engineering)主催シンポジウム「女性が拓く未来のテクノロジー Women in Engineering 2015(WIE2015)」が開催された。芝浦工業大学はこのシンポジウムを「2015年度 芝浦工業大学 男女共同参画推進室 秋のシンポジウム」として共催した。シンポジウムの趣旨は、新進気鋭の女性技術者・研究者の技術開拓・研究開発の紹介を通じて、社会課題を解決し未来を拓くテクノロジーの可能性と魅力を発信することである。参加者は80名であった。

シンポジウムは、石川佳寿子第5代会長の開会挨拶と続くIEEE JC WIE関係者の10周年記念のメッセージを以て開会した。

【第一部】講演 基調講演

はじめに水本伸子(株)IHI執行役員・グループ業務統括室長による基調講演「技術から経営へキャリアをつなぐもの」が行われた。自身の入社後の配属/職位/業務の時系列を辿り、経営者となるまでの各立場での業務経験がどのような力量開発機会となったかを振り返り、次のように述べられた。昇進とは課題形成、洞察、論理的戦略において現状に甘んじないことである。経営者が考えるべきは進むべき長期ビジョンと資源配分である。組織内で女性の登用・活躍のパイプラインを築くには、女性の採用、就業継続支援、積極的登用・メンター・ロールモデル・ネットワーク等によるキャリア形成支援、部門長層の育成意識づくり等をパッケージとして展開していく必要がある。そして、WLBを重視して効率よく働く女性たちの存在



そのものが企業の変革をけん引する、女性たちよ、挑戦が拓くチャンスを捉えよ、と締めくくられた。

【第一部】講演 技術講演

次いで、次の3名の気鋭の女性研究者による技術講演が行われた。

1. ミクロな泡の道具をつくる～針なし注射器によるバイオメディカル応用～ 山西陽子 芝浦工業大学機械工学科准教授
 2. みんなの会話を聞き取るコンピュータを目指して～音声インターフェイスを支える音響信号～ 荒木章子 NTTコミュニケーションズ科学基礎研究所メディア情報研究部主任研究員
 3. 地上と空からのセキュリティシステム～NASAでの未来の防衛技術の開発～ 岩下友美 九州大学大学院システム情報科学研究院准教授
- 山西准教授針は、「針なし注射器」の気泡技術、荒木主任研究員は、日常環境下で会話中の複数の人の声を集音・識別する技術、岩下准



編集後記
芝浦工業大学の男女共同参画、そしてDiversity & Inclusion推進の強い決意を乗せて、男女共同参画推進室ニュースレター創刊号をお届けします。手にして下さる皆さまからご意見を頂きながらニュースレターをより良いものへと育てていきます。
芝浦工業大学男女共同参画推進室入試・広報WG責任者 小野 直樹

芝浦工業大学男女共同参画推進室ニュースレター Vol.3
発行者/芝浦工業大学男女共同参画推進室 〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307
TEL: 048-720-6440 E-mail: desk-gequality@ow.shibaura-it.ac.jp http://plus.shibaura-it.ac.jp/diversity/

NEWSLETTER

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」(一般型) Gender Equality Promotion Office, SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY 2016.2

芝浦工業大学 男女共同参画推進室 ニュースレター

芝浦工業大学 男女共同参画推進室 発行/芝浦工業大学男女共同参画推進室

Vol.3
[特集号]

研究者の横顔

芝浦工業大学女性教員研究紹介「未来は私たちの手でつくる」の第二弾の冊子ができあがりしました。巻頭では、「より豊かな未来のために」と題して、それぞれの分野で最先端の研究に取り組む女性研究者へのインタビューを特集しています。その取材時に垣間見ることのできた、忙しい研究生活の中での日常など、先生活の横顔をご紹介します。



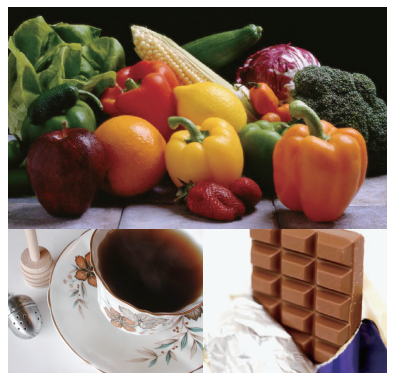
工学部建築工学科 教授
伊藤 洋子

建築史を専門分野とする伊藤先生。過去の建物や町並みについて、どのように作られ使われていたのかを調べ、その歴史的価値を見いだすとともに、先人のノウハウを現代に生かすための研究を行っています。その取り組みは研究室の枠を越え、文化庁の文化審議会文化財分科会での活動をはじめ、文化庁世界遺産委員会や埼玉県・山梨県・さいたま市・甲府市・早川町の文化財保護審議委員会などへと広がるばかり。「いい資料に出会った時のワクワク感は、なんとも言えないものがあります。研究室ではお城の復元などを手掛ける学生もいます。先人たちの知恵と技術にふれることができるのが、建築史研究の面白いところ。枚挙にいとまがないこれまでに調査した歴史的建造物の話になると、熱を帯びる先生の研究の原動力は、もっと知りたいという好奇心と、仕事を支えてくれる家族の存在にあるようです。同じ分野を専門とする研究者であるご主人とは、研究においても家庭生活においても支え合える関係だとか。家事をこなし家族の顔を見ることが、忙しい毎日においてストレス解消につながっているそうです。



システム理工学部 生命科学科 教授
越阪部 奈緒美

植物に微量に含まれている成分であるファイトケミカル、その中でも特にポリフェノールが身体に及ぼす作用について研究を進める越阪部先生。実は、チョコレートに含まれるポリフェノールに世界で初めて着目したのが越阪部先生でした。2013年には、マウスの実験によりポリフェノールがエネルギー代謝を促進する“ミトコンドリア”の新生を促すことを解明し、メタボリックシンドロームのリスク因子の改善にポリフェノールが関わるメカニズムを実証することに成功しました。現在は、多くの企業との共同研究で紅茶やりんご、紫の野菜などに含まれるポリフェノールの評価実験を行っています。仕事の息抜きは？との問いには「基本的に家事は嫌いじゃないので、休みの日には結構キッチンに立って料理に動んでいます」との答えが返ってきました。子どもが小さかった頃には、職場から急いで保育園のお迎えにも行っていた先生。頭を切り替えて子どもの相手をするのがプラスに働いたそうです。上手にオン・オフを切り替えることと、適度にワインからポリフェノールを摂取することが、越阪部先生の研究が上手くいく秘訣の秘訣のようです。



工学部 情報工学科 教授
大倉 典子

コンピュータの創生期にコンピュータを学び、長年、企業で研究・開発に携わってきた大倉先生。現在は、情報工学の分野で、「もっと日本を元気にしたい」という考えのもと、「わくわく」するインタラクティブシステムの研究や、製品やサービスのユーザビリティのあり方の研究に取り組んでいます。常に第一線で仕事をしてきた先生には、出産や子育てが契機となる転身がありました。そうした中で一番の転機となったのが、ご主人が博士号を取得したことでした。「え、えっ！私だってドクター取りたいじゃないかと思って、動めていた会社を3年間休職して東大の博士課程に進学しました」。博士号を取得した時に、あなたにとって博士号は飾りなのかと、ある先生に聞かれたそうです。「結構なショックを受け、ならば以前からやりたかった「人に教える」仕事に就こうと芝浦で教員になったのです」と、小柄な先生の印象からは予想外の負けん気の強さがうかがえました。以来、持ち前の好奇心で、多くの利用者にとって「わくわく」を感じることができるとさまざまなシステムや製品をつくりだす研究に取り組んでいます。



2015年度の主な活動

2015年4月から11月までの
男女共同参画推進室の主な活動を紹介します。

May
5

[7日] 女性教員の集い

5月7日(水)豊洲キャンパスで、2015年度第1回(通算第10回)「女性教員の集い」を開催し、今年度新たに着任された女性教員への男女共同参画推進室の活動の紹介・説明と意見交換を行いました。



大宮祭展示風景展示

[31日] 大宮祭での男女共同参画推進コーナー

5月31日(日)、大宮キャンパスで開催された「芝浦工業大学第20回大宮祭」に併せ、男女共同参画推進コーナーを開設し、来場者への説明と資料配布を行いました。

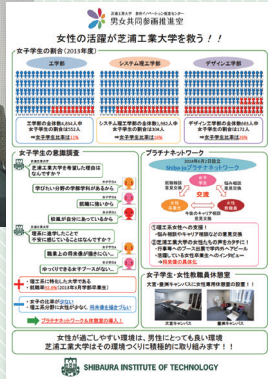
[3日(大宮キャンパス)、23日・24日(豊洲キャンパス)]

「オープンキャンパス2014」での活動

パネル「女性の活躍が芝浦工業大学を救う」を展示し、女性教員および女子学生による「女子高生向け相談ブース」を開設した。



相談ブースの風景



オープンキャンパスでのパネル展示

August

8

[21日]

第21回ホームカミング・ディでの活動

第21回ホームカミング・ディには昨年に引き続き女性卒業生全員が招待された。男女共同参画推進室とShiba-joプラチナネットワークの共催コーナーで、パネル展示、Shiba-joプラチナネットワークの紹介、女性卒業生同志の懇談を行った。



November

11

年間を通じた活動

女性教員の集い(2015年)

教員の1割にすぎない女性教員間のつながりを深め、専門を異にする研究者の対話から新たな研究が創出されることを期して、研究交流会「女性教員の集い」を開催してきた。

開催日	研究報告者	報告題名
3/25	松浦佐江子 教授	ソフトウェア工学教育支援研究
5/8	大倉典子 教授	情報システム工学研究室(大倉研究室)の研究紹介
	菅谷みどり 准教授	理系女子×女性教員PBL Fab Girl Projectの提案
6/18	谷田川ルミ 准教授	現代女子学生のライフコース展望-大学生調査の結果から
7/9	橋田規子 教授	女性コミュニティを活用した産学連携活動
	野田夏子 准教授	ソフトウェアプロダクトライン開発のためのスケラブルなモデリング手法
9/16	川口恵子 教授	英語学術論文中の人称代名詞の分析
	岡田佳子 准教授	ソーシャルスキル教育:人間関係の力、コミュニケーションの力を育てる教育とは?
	ウオント盛香織 准教授	理工系大学における多文化共生の課題と可能性
10/22	伊藤洋子 教授	建築史—理系の史学—
	芹澤愛助 助教	3Dプリンターを用いたものづくり
11/12	越阪部奈緒美 教授	ポリフェノールと生活習慣病
	山崎敦子 教授	A Brief History of My Research and More
	本田まり 准教授	生命の始まりおよび終わりにおける法と倫理
12/16	平田真代 准教授	エスノグラフィを応用する技術経営
	加藤恭子 准教授	経営学教員が工学部大学で貢献できることは何か
	大成優子 准教授	都市における身体性

ライフイベント中の女性研究者への男女共同参画研究支援員の配置

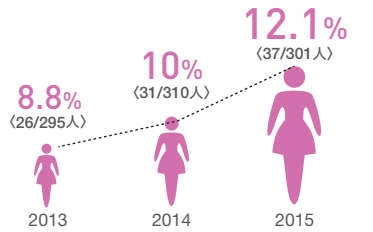
育児・介護等により研究のための時間が制約される女性研究者の研究時間を確保し、育児や介護と研究の両立、研究水準の維持をはかるため、該当の女性研究者に「男女共同参画研究支援員」として大学院生を配置している。4月から12月までの間、6名の女性研究者に11名の男女共同参画研究支援員を配置した。男女共同参画推進研究支援員にとっても成長の機会となるよう、月1回、「男女共同参画研究支援員研修」を実施している。



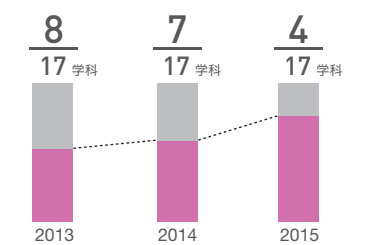
男女共同参画研究支援員研修風景

数字でみる 芝浦工業大学の男女共同参画 2013-2015

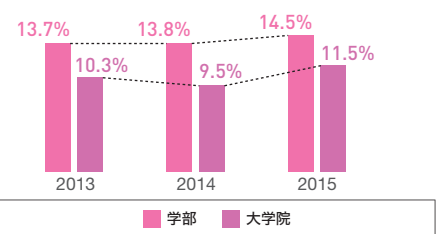
常勤教員の女性割合は
女性教員の割合は2年間で1.5倍に増加し、工学系研究者に占める女性割合の全国値9.8%(2014年)を上回った。



女性教員のいない学科数(学部)は
女性教員のいない学科数は、2年間で半減した。

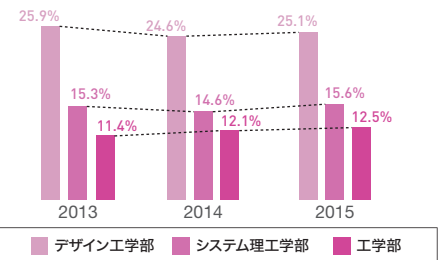


女子学生比率(学部/大学院別)は
学部、大学院とも女子学生の割合は増加傾向にある。



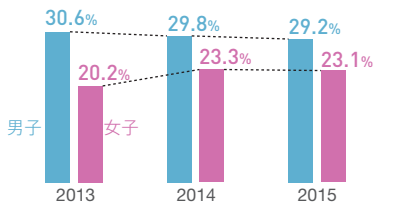
女子学生比率(学部/大学院別)は

女子学生の割合は学部によってかなり異なる。学科別では、最も女子学生割合が高いのは生命科学科31.3%、最も低いのは電気工学科3.6%とさらに幅がある(2015年)。



男女別大学院進学率

大学院への進学率にはなお男女差があるが、年々少しずつ差が縮まっている。



大学解放デー

[7日] 大学開放デー

「地域住民のための豊洲子育て懇談会 ～家庭と職場の両立を考える～」と題し、子育てと職場に日夜奮闘されている企業のパパ、ママを講演者にお迎えし、ためになるパネルディスカッションと楽しい手品の時間を過ごしました。

[27日] 芝浦工業大学柏中学高等学校「理系女子講演(交流会)」

現役芝浦工業大学女子学生が語る講演会と交流会が開催されました。中学三年生から高校三年生まで60名近く集まりました。



授業風景

[7月20日～10月2日]

男女共同参画推進ポスターの学内公募

男女共同参画推進ポスターの最優秀賞各1点を選定し、採用した。

芝浦工業大学 男女共同参画推進室

- 男女共同参画推進ポスター
作者: デザイン工学科4年 西山 凌



今年の最優秀ポスター

September

9

October

10

[17日] 芝浦工業大学秋のシンポジウムをIEEE WIE JC “WIE 2015”と共催で開催

芝浦キャンパスにて、秋の男女共同参画推進シンポジウムをIEEE WIE JCと共催で開催し、「女性が拓く未来のテクノロジー」と題し、活発な議論が進んだ。



シンポジウム会場風景